

登録コード	EKE04900	開講年度	2026				
授業科目	へき地・小規模校における教育実践					担当教員	伏木 久始 他
英文授業名	Education in the remote place and the small school					副担当	関 浩司・若林 史也・森下 孟・佐藤 和紀・山浦 貞一
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	履修学年	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】		
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能					小規模校ならではの条件を踏まえて、一人ひとりの子どもの学習指導の質を高めるための具体的な実践を担えるような専門的知識とスキルを身につける。	
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
	教育現場の諸課題の背景にある関係構造に気づく視点					・小規模校が抱える諸課題を理解するとともにその解決の方法を柔軟に構想できる。	
(2)授業の概要	・南信州サテライトキャンパス（飯田市立飯田東中学校内）を会場とする集中講義・演習をはじめ、へき地・小規模校を会場とした演習にも参加して実践的な演習を行う。 ・少子・人口減少社会に対応した学校教育の在り方や教育実践を具体的に検討する課題に対して、グループワークを通じた演習により協働的に学び合う機会となる。 ・2校以上のへき地・小規模校をフィールドワークを行うことをミッションとするが、指定した対象校のみならず、自ら調べて調査校に設定した学校をフィールドワークに充ててもよい。 ・小学校・中学校・高等学校での教職経験をもつ担当教員がその経験を活かして指導します。						
(3)授業計画	第1回：オリエンテーション／フィールドワークの選択 第2回：少子・人口減少社会における教育のあり方（教育課程の編成） 第3回：少人数学級の条件を生かした授業づくり（指導方法の工夫） 第4回：へき地・小規模校の事例研究（1）：フィールド調査（例：木曽郡の教育事情と特色ある教育実践） 第5回：へき地・小規模校の事例研究（2）：フィールド調査（例：飯田・下伊那地域の教育事情と特色ある教育実践） 第6回：I C Tを活用した遠隔授業 第7回：まとめと「ふりかえり」【遠隔になる場合がある】						
(4)成績評価の方法	・事例研究の調査レポート（60％＝30％×2）と集中講義での課題提出（40％）により総合的に評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(5)履修上の注意	・原則として2年次に登録する科目とする。 ・へき地・小規模校へのフィールドワークを2校以上実施してレポート報告することと、7月末に南信州サテライトキャンパスで開講予定の集中講義に参加することを必須条件としている。 ・へき地・小規模校は移動だけで時間を要する現場が多いため、1年次から日程が合えば、先取り履修のような形でフィールドワークに参加してもよい（むしろ歓迎する）。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	・メールでアポイントメントをとっていただければ、相談等の時間を調整します。 伏木久始 hfusegi@shinshu-u.ac.jp 関 浩司 seki_hiroshi@shinshu-u.ac.jp （新任教員）						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：へき地の学校環境を生かした教育実践の在り方を積極的に構想し、具体的な実践プログラムを構想できている。へき地・小規模校に関する基本的な知識を理解し、へき地の実情に応じた教育実践の在り方を具体的に考案し、ねらいに示した「卓越している」：へき地・小規模校に関する基本的な知識を理解し、へき地の実情に応じた教育実践の在り方を具体的に考案し、ねらいに示したを関連づけて実践的力量が習得できている。 「かなり上である」：へき地・小規模校に関する基本的な知識を理解し、へき地の実情に応じた教育実践の在り方を検討し、ねらいに示したを関連づけて試行している。 「やや上にある」：へき地・小規模校に関する基本的な知識を理解し、へき地の実情に応じた教育実践の在り方を、ねらいに示したに関連づけて具体的に構想している。 「水準にある」：へき地・小規模校に関する基本的な知識を理解し、へき地の実情に応じた教育実践の在り方を、ねらいに示したに基づいて構想しようとしている。						
(8)事前事後学習の内容について	・日頃から人口減少社会における教育のあり方や少人数学級の教育方法を考えておくこと。 ・eALPSに適宜関連資料をアップロードするので、こまめにeALPSの関連サイトを参照すること。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	授業の中で適宜紹介する。						